

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスみらいのいぶき		令和7年3月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		設備基準においては法令で24.7㎡が必要とされております。当事業所では123㎡の広さを確保しております。 所内の床に基本物を置いたままにしない、使ったものは片付けているため、広々とした空間で過ごせている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		利用者様の安心・安全に利用ができるよう利用定員を守り支援を行わせていただいております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		どの棚に何が入っているか、文字が読めない子どもわかりやすいように、棚に入っている物の写真を撮り、引き出しに貼りだしている。エレベーターやスロープなどのバリアフリー化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		日々の掃除だけでなく、毎日環境整備も実施し心地よく過ごせる環境作りを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	2	個別の部屋はありませんが、カーテンやパーテーションで空間を区別する工夫はできてる。また、スタッフ同伴で廊下に出ることで隔離できている。	お子様にあった環境を提供出来るよう今後も工夫して参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		月に1会全体での目標の共有を行い、業務に関しての振り返りも行いながら業務改善を進めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		毎年実施するアンケートをできうる限り取り込んで法人全体で実施しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日頃からのコミュニケーションの中でもスタッフとの意見交換を行い、週に1回話し合いの場を設けながら内容を業務改善につなげております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		地域にお住いの民生委員さん等をお願いできればと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		月に2回グループ内研修、月に1回事業所内研修（委員会に基づくもの、医療安全シミュレーション等）を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		新しい制度となり、5領域支援（健康・生活／認知・行動／運動・感覚／人間関係・社会性／言語・コミュニケーション）を中心とした内容に変わりました。計画とプログラムのつながりが十分な説明が行き届いてないと私たちも痛感しております。送迎時や連絡帳での記載など、ご理解を得られやすいよう工夫してまいります。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		一人一人の行動特性を話し合ったり、保護者様に様子を聴取し、どんな動作ができるか目標を達成することができるのか考える機会がある。定期的にアセスメントも更新し、支援計画へ反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		全員で話し合う機会が設定されている。定期的に会議を行い支援者全員で考えて作成してる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		完成した個別支援計画書はチームメンバーと社内イントラネットを使用し情報を共有しております。また、日々の支援前には朝礼にて口頭周知をしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		朝礼にてお子様の行動特性、リスクを全体に共有し、保護者様からの情報や他事業所での様子などお子様の情報に関しては日々アセスメントを更新しスタッフ間で共有を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		個別支援計画会議において、児童発達支援管理責任者がディレクターとなり、多職種の意見をとりまとめ、納得のいく形で設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		保育士、セラピストなど多職種で話し合う機会が設定されている。定期的に会議を行い支援者全員で考えて作成を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		ホームページにも記載しております通り、4つのテーマ（遊びと言葉、遊びと運動、遊びと造形活動、遊びと音楽）×6プログラム＝24プログラムを2週間でサイクルしております。今後も実施状況は連絡帳にて記載してまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		個別活動に関しては、担当を決め実施し、集団活動では、全員で同じ時間に行っている。療育の中に個性の内容と集団活動を組み合わせて支援を行っている。またお子様の状況に応じて内容の変更しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援前に朝礼を行い、お子様の重点支援項目の共有、枠割分担の共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	支援終了直後ではなく、翌日の朝礼にて情報を口頭周知しております。また、支援中の共有事項は社内のイントラネットを使用し、確実に情報の周知と見返すことを重要視しているため、タイムリーな発信を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		子供さんの成長がわかるように動画を撮り社内イントラネット上に保管している。アクシデントや連絡帳、日々のアセスメントシートの更新などリスクから成長など記録に残すようにしている。	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		個別支援計画書の更新時期には、モニタリングのフローを踏んでおります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	1	①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動③地域交流の機会提供④余暇の提供とバランスよく考えて行っていますが、③は今後の課題です。	設問45の回答に準じます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		活動ではお子様一人一人の課題が設定されており、考える力を伸ばす取り組みを行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		事前準備として、出席するスタッフは他のスタッフの意見を聴取し参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		経営母体が医療法人のため、医療機関との連携は密に行っております。	保育は養成校との連携パイプを構築段階、教育機関（特別支援学校等）との連携パイプと密な情報交換は検討課題です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校との情報共有に関して、年会計画や下校時刻の確認等、学校や保護者に確認を継続して行い、送迎時のトラブル等も保護者様、学校ともに連絡を行って参ります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	直接的ではありませんが、保護者様、相談支援専門員の方を介して行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	相談支援専門員を介してや卒業直ぐの担当者会議等を通じて必要に応じて情報共有を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		研修スタイルは様々なものがありますので、ベストな研修方法を選択し、受講したいと思っております。地域の児童発達支援センターとの密な連携は今後の課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		一般学校における放課後児童クラブ等の交流は行っておりません。 同企業内に企業主導型保育園が同一敷地内にございますので接する機会があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		積極的な協議会への参加は今後の課題です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		活動記録や送迎時、保護者様に共有している。送迎時には日々の活動の様子をお伝えし、課題をお聞きした場合は発生した場合は速やかにスタッフ間で共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	支援計画を作成する段階で、今後作成していく予定はあります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		運営規程、利用者負担等に関しては契約時や改定毎に説明をさせていただいております。支援プログラムに関しても送迎時や連絡帳にて説明を心がけております。	丁寧な説明を心がけておりますが説明不足の場合もあることから、今後も連絡帳の内容の修正を行い、更に丁寧に説明ができるよう改善して参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		個別支援計画書を作成する際に、保護者様に意向を聴取している	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		対面での説明を心掛けております。また、内容の修正や追記をしていただきたく、書面でのやり取りも同時並行で行っております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		送迎の際、相談があった場合、事業所でできることがないか対応している。相談事を受けるとスタッフ間で共有するようにして、改善策を話し合うようにしている。チームで共有する共に相談支援員の方にも共有させていただき、総合的に支援が行えるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		3		父母の会は行っておりません。 就労されている保護者様も多く、児童ご本人様の特別支援学校やご兄弟の学校のPTAを務められ、ご多忙とお聞きしております。必要に応じて検討致します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		その日に話し合い早急に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		HPにて、活動概要や行事予定など公表を行っております。 また、連絡帳に療育内容や療育中の写真を記載を行うことで、療育中の姿が見えるよう行っています。	保護者様により分かりやすく発信できるよう、今後も連絡帳のアップデートして参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報保護に関する誓約書交わし、留意しながら業務を行っております。	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		限定された情報ツール（アナログ寄り）での対応となっております。	様々なコミュニケーション手段がありますが、状況に応じベストな方法（特にIT）を模索しております。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	――	コロナ渦以前までは、法人全体やグループにおいて「餅つき」や「交流イベント」を行って参りました。状況に応じて開催が検討課題です。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		マニュアルを策定し、定期的にシミュレーション訓練を実施しています。	職員間ではマニュアルを基に訓練を実施しており、周知が大前提ですが、ご家族へはマニュアルの周知までは至っておりません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		定期的に行い、振り返りを実施している。 業務継続計画の策定、訓練共に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		利用時に服薬があるお子様は連絡帳へ記載していただくことで確実性を高めております。また、成長に応じて発作の型や種類、投薬内容が変更されますので、受診の都度、保護者様へお尋ねしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		基本、食事の提供はなく、おやつも持参となってる。アセスメントに記載し、情報共有をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		緊急シミュレーションや避難訓練等を定期的に行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		シミュレーション訓練時には、お便りとして全ご家庭に計画日時、内容をお知らせしています。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		早急に対応できている。ヒヤリハットがあった際は、当日にMTGを行い対策を講じています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		全員で話し合う機会がある。虐待防止委員会を定期的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		身体拘束が必要があるかどうか話し合う機会が設けられている。放課後等デイサービスの計画に身体拘束の件を記載し、保護者様に説明を行っています。	